



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク  
**あったかウェルねっとニュース 第13号**

2010年11月13日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

\*\*\*\*\*

**あったかウェルねっと  
10年間の福祉教育実践・そしてこれから**

\*\*\*\*\*

彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

**これまでの県民対象の主な活動**

2002年「自分が地域が好きになる福祉交流  
セミナー」

2003年「地域をつなぐ あったか はあと  
福祉交流セミナー」

2004年 全国障害者スポーツ大会ふれあい  
広場ブース出展「あったか はあと  
彩の国から発信！」

2005年「住民参加の手法に関する研修」  
主催：埼玉県社協  
共催：あったかウェルねっと

2006～7年「学民ジョイントプロジェクト事業」

2007年「つなごう人の輪みんなが主役」

2008年「誰もが主役のまちづくりへ」

2009年「だれもが楽しく歩くために」

\* 詳細につきましては別紙チラシをご覧ください

\*\*\*\*\*

**第10回総会及び学習会（報告）**

平成22年5月8日(土) 10:00～15:40

あったかウェルねっと代表 坪井敏衛

平成22年度 彩の国福祉教育ボランティア  
学習推進員ネットワーク総会並びに学習会は、  
埼玉県社会福祉協議会地域福祉部長兼ボラン  
ティア・市民活動センター長の柿沼和幸様に

**2010年度  
～ねっと主催事業～**

今年度の講師役は推進員のみ  
なさまざまです。積極的なご協力  
ご参加をお願いします。

**豊かに学ぶ力「福祉教育から福祉共育へ」  
～みんなで共感・共有・創造～**

日時：2011年1月15日(土)  
時間：10:00～15:30

会場：彩の国すこやかプラザ2階

内容：第1部

**21世紀！次のステージはみんなで創造！**

- ・オープニング：DVDバリアフリー体験
- ・プレゼン：10年間の福祉教育実践より

第2部 **交流タイム**

参加者アピール：各市町村情報いろいろ  
第3部

**‘共に生きる’論より証拠の模擬体験授業**

「福祉って」「ボランティアって」

「子どもの今、そして未来へ」

「気づこう、共に生きるその心」

みんなで「協同」実践体験

後援：埼玉・埼玉県教育委員会・埼玉県社会福祉協議会

\*\*\*\*\*

ご臨席を賜り、変化する  
社会環境の中、福祉  
教育実践の継続・協働  
していく必要性や重要



性、加えて、当会への心強いエールを戴きま  
した。議案はすべてが承認され、新体制がス  
タートしました。副代表は横田さんから木野  
さんへ、事務局長は脇さんから横田さんへ引

き継がれましたので、ご報告いたします。

また、推進員ならびに地域に根ざした活動をされている皆様には、日頃より、福祉教育・ボランティア活動に取り組まれておられることに深く敬意を表します。

早いもので、本ネットワークも設立10年となりました。その間、県社協の養成研修を修了した多くの会員の皆さんを迎え、埼玉県の福祉教育・ボランティア活動において、十分な足跡を残してきたと自負しております。これも皆さんが、地域での福祉を身近なものとして幅広く捉え、誰もが地域で「自分らしく生きる力」を培うという、基本に立ち戻って活動されているからだと考えております。

午後には、「共に生きる、推進員の事例から今後の協働実践へ」をテーマに学習会を開きました。いろいろな立場の推進員から学び、豊かな福祉の構築に繋がる活動に結びつけていただければ幸いです。

\*\*\* **学習会** \*\*\*

**「共に生きる、推進員の事例から今後の協働実践へ」**

進行：脇美智子（2期）・鈴木哲也（県社協）  
ねらい：様々な立場の推進員の協働実践について学び、今後に向けて、地域で効果的に“共に生きる”豊かな福祉力、社会力を促す福祉教育・ボランティア学習の推進に役立てる。

1. 事例発表

発表：西武台高校 工藤明子（2期）、熊倉京子  
「推進員の仲間から学ぶ、学校での福祉教育・ボランティア学習の推進のあり方について」



発表：水出智津（6期）と盲導犬ユザ  
「私の子育て15年を振り返って」当事者の気づきから

これまで9年間続けられたのは県推進員研修で意識を持ったこと、手伝ってくれた推進員がいたことです。

発表：和田弘（7期）「私の歩み」地域実践から。  
2. グループワーク：今後に向けて気づいたこと

（次号に続く）

**共に生きる、共に学ぶ**

これまでの福祉教育実践から  
～10年続けたからできること～

**障害者とふれあい体験**

「心がひとつになったね」

毛呂山町泉野小学校 4年 福祉授業より

10月1日(金) 毛呂山町泉野小学校 4年生(113名)を対象に福祉授業が行われました。今回の特徴は、学校と推進員木野登紀子さん(2期)が主宰する視力障害者と晴眼者の会「いどばた」の16名が児童たちの心を揺さぶったことです。

12ブースの担当者が各々テーマを持ち、それぞれの思いを子どもたちに伝えました。障害者と身近にふれあうことで、子どもたちに「見えないという障害について」より深く知ってもらい、障害者も子どもたちも感じあえる貴重な時間をつくることができました。

授業終了後、生徒のガイドで教室へ移動。給食を一緒に食べるのは、みんな初めての経験で誰もが真剣！生きた学習を体験しました。

**ブース報告**

第1ブース・・・生徒と一緒に走りたい！！

「ちょっと手を貸してもらえば、眼の見えない人だって走れるよ」埼玉県主催の障害者運動会100m徒競争の金メダル保持者が担当。みんなすごーい！すごーい！と拍手。

第2ブース・・・ゲームから伝えたい！

背中に神経を集中させて文字を読み取る「伝言ゲーム」。視覚障害者テニス用のボールも見ながら、障害者とスポーツの話をしました。

第3ブース・・・自筆の署名はどうするの？

視覚障害者も様々な状況の中で名前を書くときがあります。その際の便利グッズを紹介。

第4ブース・・・障害者の機器を自慢したい！！

ボタンひとつで物を識別できる機器『ものしりトーク』を使っただの実演。

みんな興味津々です。



第5ブース・・・視覚障害者は音楽が大好き！  
ハーモニカ演奏の実演。暗譜をして吹くとの説明に「えー、すごい」と声が上がりました。童謡の大合唱もとても良かった。

第6ブース・・・視覚以外の感覚を知ろう  
アイマスクをして野菜をさわり当ててみる。声の誘導で歩いてみる。見えなくても誘導があれば安心ということを知ってもらいました。

第7ブース・・・見て！この包丁さばきを

千切り・輪切り、見えにくくても何でも料理OKです。がんばれば何でもできるということが伝わったかな？



第8ブース・・・本を楽しむために

拡大鏡、大活字本、などを紹介。音声ガイド付き絵本「盲導犬ふりふりとまり」をCDで聞きました。

第9ブース・・・縫い物、ボタン付けOK  
糸とおし機、ボタン付け装置の実演。運針すいすい、キッチンとボタン付けでき「すごい」と歓声。

第10ブース・・・触って！不思議立体コピー  
絵や文字が浮き出る実演。

第11ブース・・・冷蔵の中からの発見  
ビールとジュース、どっちがジュースかな？  
わさびとカラシ、どっちがわさびかな？  
どうやって区別しようかな。秘密を伝授。

第12ブース・・・視覚障害者のパソコン  
初めて聞く音声ソフトのパソコンを操作。  
読み上げ速度の速さにみんなびっくり！

### ブース担当者 感想

- ・可愛い小学生の誘導、とっても上手！
- ・子供たちの一生懸命さに、嬉しいひと時でした。子供たちも楽しんでいただるように思いました。もしかして、その子達以上に私の方が楽しんでいただかも？
- ・校長先生はじめ担任の先生、そして、子供たち。一生懸命でした。素敵でした。だから、私たちも一生懸命でしたよね。私たち「いど

ばた」と、心がひとつになっていたと感じました。先生はもちろん、子どもたちの心に残る授業だったのではと思います。

・子どもの気づき、子どもからの発想は、すごいものがある。楽しいひとときでした。

### 推進員 木野さん まとめ

20年以上、社協のボランティアにかかわり、10年推進員として活動してきました。学校に障害者団体一つまるごと持ちこんでの授業は、以前から「どこかでやりたい」と思っていたことでした。地元毛呂山でできたということは、私にとって最大の喜びです。

以前は伝えたい、教えなくてはと、思いが先行していました。推進員研修の後は私の話と一緒に体験することから、子供たちには自分なりの疑問や気づきを感じ取ってほしいと思えるようになりました。

今回は3、4時限目の授業でしたが、学校との協働で、「共に生きる」という福祉教育の最大目標に向かい、子供たちと楽しく「共に学ぶ」という授業を作り上げることができました。

### 「いどばた」とは？・・・

第2期推進員の木野登紀子さん(毛呂山町)が「この指とまれ」との呼びかけで集まった、新しいタイプの集団です。自立を目指す視力障害者と友人としての晴眼者が、参加の目的や希望により、プログラムを決めて、皆で集い協働する組織です。会則や会費もなく、月1回の集まりのほか、いどばたMLで情報を頻繁に発信して情報交換。

今回の授業は、ブース担当者がすべていどばたMLで、連絡を取り合いそれぞれのブース作りをしました。

いどばた管理人は、木野さんです。

取材：島田(10期)



平成22年12月21日(火)

10:30~16:00

場所：すこやかプラザ研修室

\*1日目と2日目の開始及び終了時刻が異なりますので、お気をつけください。

対象者：推進養成研修を受けた1~10期の方になります。

## 県社協からの情報★★★

平成22年度11期「福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修」が終了しました

(養成研修の概要)

日程：7月28日~9月6日までの7日間

参加者数：56名

認定者数：52名

第1期~11期認定推進員総数 837名

主な内容：

今年度も基本コース、学習支援コース、地域推進コースに分かれて養成を行いました。

初日のオープン講座には横田さん・水出さんにあったかウェルねっとについて説明をしていただき、受講生から大変好評でした。

この養成研修は、ボランティア・教員・社協職員など、様々な方が参加しています。それぞれ立場の違う参加者が参加する研修だからこそ、様々な意見が出ており、そうした意見交流が参加者同士の刺激に繋がっていたのではないかと思います。

福祉教育のテーマの一つである「違いを認める」という事をワークを通して学んでいただけたのではないのでしょうか。

改めて、研修のご協力誠にありがとうございました！

平成22年度「フォローアップ研修」を開催します！

平成22年12月20日(月)・21日(火)に「フォローアップ研修」を行います。今回のフォローアップ研修のテーマは『推進員の役割の再確認・再発見』。20日は日本社会事業大学の添田先生、21日はめだかすとおりいむ所長山下先生をお招きし、地域で行う福祉教育の展開の方法や推進員としての役割を講義やワークを通して学びます。

皆様のご参加お待ちしております。

日時：平成22年12月20日(月)  
10:00~15:30

### 世話人会は 奇数月の第2土曜日

今年度より、奇数月第2土曜日午後1:00から、埼玉県社会福祉協議会彩の国すこやかプラザ3階にて、世話人会を開催しています。

ねっと会員は、誰でもいつでも「世話人会」に、参加できます。県域の方との交流や情報交換ができて楽しいです。ご参加ください。世話人会へは参加できない方も、日頃の情報を是非、下記の連絡先まで届けてください。

### 会費振込先のお知らせ

ねっと活動は、ねっと会費(年1000円)で運営しています。推進員のみなさまのご加入と会費納入のご協力をお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・

普通預金口座番号：5015782  
名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

### 編集後記



あったかウェルねっと活動10年目。2010年の夏はまれに見る猛暑続き。そんな中での養成研修を終えた、新しい仲間が県域でのネットワークに加わりました。これからも情報交換の輪を広げていきましょう。早くも来月は師走。よい年をお迎えください。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

(愛称：あったかウェルねっと)

編集：あったかウェルねっと世話人会(情報担当)

連絡先：埼玉県社会福祉協議会 地域連携課

(TEL: 048-822-1192 FAX: 048-822-1449)

担当：川村(VC@fukushi-saitama.or.jp)